



2013年6月19日

各位

### 2012年度 受信状況について

## 年間相談件数 3年連続で2万3千件を超える

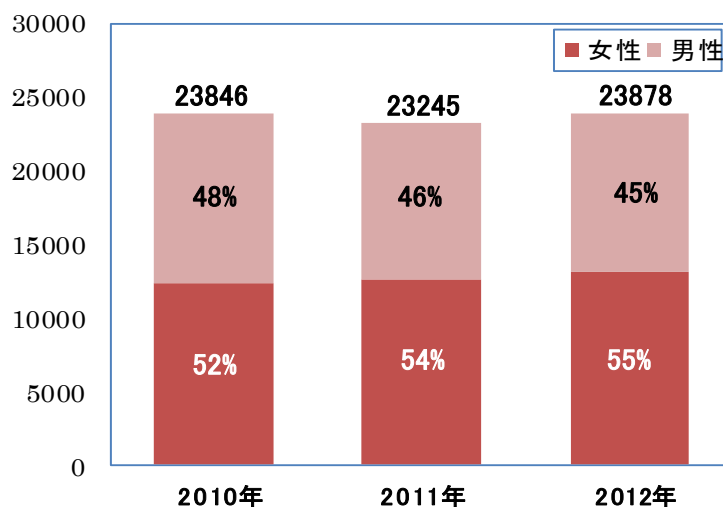
社会福祉法人 関西いのちの電話は、1973年に創設して以来、様々な理由で生きる希望をなくしている人たちや孤独に苦しむ人たちの声に、24時間365日体制でひたすら耳を傾けてきました。その活動は、名もなきボランティア相談員たちの力によって支えられ、またその運営は、企業や個人からの善意の寄付によって支えられています。

関西いのちの電話では、相談員が記録した受信カードをもとに、1年間の受信状況について分析を行っています。この度、2012年度分をまとめましたので、概要のみ報告致します

### 2012年度 全体の傾向

年間の相談件数は23,878件で、2010年度から3年連続で2万3千件を超えました。これは、関西いのちの電話の相談員が受信した総件数であり、この中には、日本いのちの電話連盟として毎月10日に実施している「自殺予防フリーダイヤル」や、発信地域限定の「震災ダイヤル」で受信した件数も含まれています。

### <男女別相談件数>





全体の55%が女性で男性よりも多く、その傾向に変化はありません。女性の主訴として一番多いのが、うつ病など心の病に関する悩みで、次が生き方や孤独という人生に関するもの、また家族との関係で問題を抱えているという声も多く聞かれます。一方、男性は人生に関するものが最も多く、次に心の病に関するものとなっています。

年代別では、40代、30代、50代の順で多く、その傾向に変化はありません。中でも40代女性が最も多く増加傾向、特に既婚者が増加しました。次に多いのは40代男性ですが、昨年より減少しています。

### 自殺志向について

「自殺したい」という訴えは、全体の18%で若干増加傾向。自殺の要因の一つでもある心の病も、全体の6割を占め増加傾向です。警察庁からは2012年度の自殺者数が3万人を下回ったと発表されましたが、私たちの受信状況からは、様々な支援策に辿り着けず、自殺したいほど追い込まれている人がまだ多くいるという状況が感じ取れます。警察庁発表の自殺者数は男性が女性の2倍であるのに対し、電話は女性が男性の1.6倍。特に20代、30代の女性に自殺志向が多くみられます。20代女性の主訴は、心の病、人生、男女関係が多く、30代女性は、それらに加えて家族との関係についての訴えもよく聞かれます。

一方、「自殺予防フリーダイヤル」では、男性が全体の55%と女性よりも多く、40代男性、30代男性、30代と40代女性という順になっています。こちらの主訴も、生き方や孤独、心の病に関するものが多く、男性はそれらに加え失業、女性は人間関係を訴える人が多いという状況です。

関西いのちの電話は、本年9月で創設40周年を迎えます。経済不安や孤独など将来への不安が蔓延し、生きづらさを多くの方々が抱えている中、私たちの活動は今後もより一層求められることと確信しています。相談員一人ひとりが、これからも悩める人々の声に耳を傾け続けます。

引き続きご支援を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

### 【お問い合わせ先】

社会福祉法人 関西いのちの電話 事務局

大阪市淀川区十三元今里 3-1-72

TEL : 06-6308-6868 e-mail: [kaind@x.age.ne.jp](mailto:kaind@x.age.ne.jp)